Ⅴ　資源を節約し、循環利用するまち

１ ごみ処理

（1） ごみ処理の現況

旧清掃センターは、ダイオキシン類対策特別措置法に適合するごみ焼却施設として平成１５年８月に竣工しました。清掃センターは、ガス化溶融方式による排ガスのクリーン化と排ガス中の熱エネルギーを利用した発電など、環境と省エネルギーに配慮した施設で、令和６年３月末に稼働を終了しました。平成２９年４月に実施した家庭系収集ごみ有料化に伴い、大幅に家庭系収集ごみ量は減量しましたが、近年は、ほぼ横ばいとなっています。ごみの総量は、前年度と比較して、約３％減少しています。

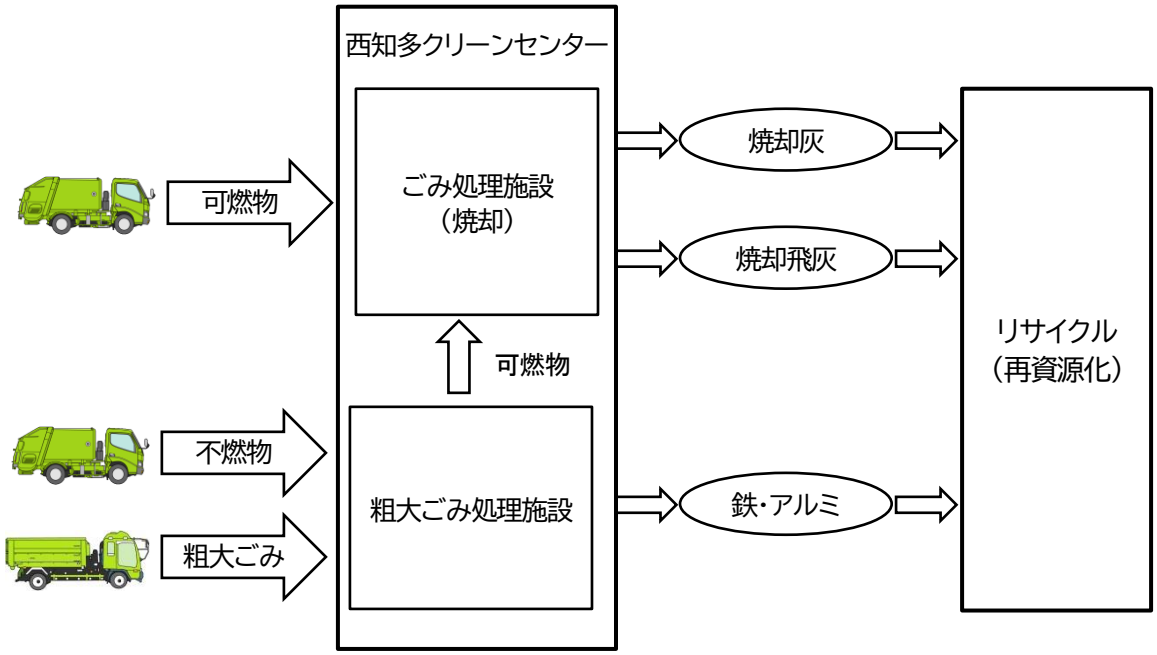
本市では、ごみを適正に処理することが、公衆衛生の向上及び市民の生活環境の保全に極めて重要なことと捉えています。ごみの適正処理を継続して確保するため、ごみの減量と資源化の推進に向けて段階的に取り組みを進めています。

・平成２９年　４月～　「家庭系収集ごみの有料化」、「資源回収品目の拡大」
・　　３１年　４月～　プラスチック類（食品用プラスチック製容器等）の店頭回収
・令和　元年１０月～　「知多市いちごニャンコ運動」（宴会時の乾杯後乾杯後１５分（いちご）とお開き前２５分（ニャンコ）は自席で料理を楽しむ。家庭では、毎月１５日（いちご）、２５日（ニャンコ）に冷蔵庫の中の食材をチェックする）
・　　２年　３月～　小型充電式電池（リチウムイオン電池等）のボックス回収
・　　２年　４月～　剪定枝の持ち込み回収（リサイクルプラザ）
・　　６年　２月～　回収ボックスに入らない大きさの小型家電、金属類、羽毛布団の持ち込み回収（リサイクルプラザ）
・　　６年　４月～　プラスチック類のごみ収集場所での回収
大型プラスチック製品、木製家具、刈草の持ち込み回収（リサイクルプラザ）

令和５年２月に改定した「知多市ごみ処理基本計画」の中で、重点的に取り組む施策のひとつとして挙げた「西知多クリーンセンターの稼働」については、第２次愛知県ごみ焼却処理広域化計画における知多北部ブロックの「知多北部地域ごみ処理広域化計画」に基づき、東海市との広域処理が西知多医療厚生組合を事業主体として、令和６年４月からごみの全量受入を開始しました。

（2）ごみ処理の流れ

ごみを安全かつ適正に処理し、私たちの生活環境だけでなく、地球環境も守ります。



（3）ごみ搬入量

（単位：ｔ）

区分	収集形態	ごみの種類	年度		
			令和３	令和４	令和５
家庭系ごみ	定期収集	可燃物	13,714	13,504	12,958
		不燃物	967	911	881
	戸別収集	粗大ごみ（不燃物に含む）	101	131	117
	直接搬入	可燃物	1,332	1,092	1,168
		不燃物	419	548	431
事業系ごみ	直接搬入	可燃物	3,894	3,886	3,851
		不燃物	0	0	0
小計		可燃物	18,940	18,482	17,977
		不燃物	1,487	1,590	1,429
合計			20,427	20,072	19,406

（4）収集状況

○ 可燃物

指定ごみ袋によるステーション方式　週２回

○ 不燃物

指定ごみ袋によるステーション方式　月２回

○ 粗大ごみ

排出者が許可を得て直接搬入

有料で一括戸別収集　普通貨物自動車（２トン車）11,000円、軽貨物自動車5,500円

有料で粗大ごみ戸別収集　１個につき550円

（5）西知多医療厚生組合　西知多クリーンセンター

所 在 地	知多市北浜町１１－４
敷地面積	約33,000 ㎡
内　　容	処理能力 ― ごみ焼却施設　185t/日(92.5t/日×2炉) 粗大ごみ処理施設　21t/日
	処理方式 ― 全連続燃焼式ストーカ炉

（6）東鴻之巣最終処分場

所 在 地	知多市八幡字東鴻之巣３６－２		
敷地面積	30,180㎡		
総 工 費	1,716,951,600 円（平成22年3月竣工）		
内　　容	埋立地	埋立面積	12,400 ㎥
		埋立容量	57,600 ㎥
	浸出水処理施設		逆浸透膜処理方式　50 ㎥／日
			調整槽容量　3,200 ㎥
	埋立対象物		溶融飛灰（セメント固化）、スラグ、 コンクリートガラ（家庭系）

2 生活排水処理

(1) 生活排水処理体系

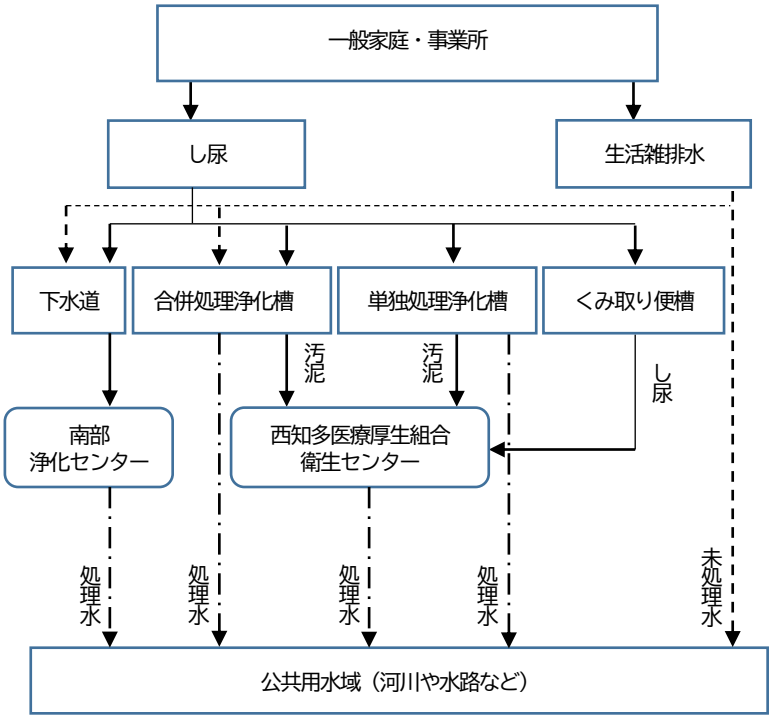
本市における生活排水処理体系は右図のとおりです。

一般家庭や事業所から排出されるし尿の流れを実線で示しています。

し尿は、下水道、合併・単独処理浄化槽、くみ取り便槽に流れます。

下水道に流れたし尿は南部浄化センターで処理され、合併・単独処理浄化槽に流れたし尿は、浄化槽内で処理されますが、この際に汚泥が発生します。汚泥とくみ取り便槽に貯まったし尿は、西知多医療厚生組合の衛生センターに搬入され、適正に処理されます。

また、生活雑排水の流れを点線で示してあります。



(2) 生活排水の処理形態別人口

令和３年度から３年間の処理形態別人口の推移をみると、令和５年度末において、計画処理区域内人口８３，２６７人のうち、８１，２３９人が生活排水を適正に処理しており、生活排水処理率は９７、６％となっています。

	３年度末	４年度末	５年度末
1.計画処理区域内人口	84,227	83,646	83,267
2.水洗化・生活雑排水処理人口	82,066	81,544	81,239
(1) コミュニティ・プラント	0	0	0
(2) 合併処理浄化槽	1,305	1,305	1,308
(3) 下水道	80,761	80,239	79,931
(4) 農業集落排水施設	0	0	0
3.単独処理浄化槽人口	1,731	1,701	1,673
4.くみ取り便槽人口	430	401	355

(3) くみ取り状況

下水道等人口普及率が令和５年度末で９６．９％と高く、くみ取り世帯数は少なくなっています。

区分 / 年度	くみ取り世帯数	くみ取り量（リットル）	１日平均くみ取り量（リットル）	作業日数
令和３	240	914,740	3,876	236
令和４	220	748,060	3,183	235
令和５	206	647,570	2,744	236

（4）し尿くみ取り手数料

○ 定額制（市長が認定した世帯）

世帯割	１か月	１世帯	250円
人頭割	１か月	１　人	250円
超過料	１　回		730円

○ 従量制（定額制以外の汲み取り式トイレ）

① 工事現場やイベント等で一時的に設置される簡易式のトイレ
18リットルにつき　312 円　（令和２年10月１日から新たに設定）

② 従量制で①以外のトイレ
18リットルにつき　156 円

（5）処理施設

西知多医療厚生組合（知多市と東海市で組織する一部事務組合）

所 在 地	知多市三反田３丁目１番地の２
敷地面積	72,636㎡
建物面積	1,836㎡
延床面積	3,636㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造 地下１階 地上３階建
総 工 費	3,961,380,000円（平成８年３月竣工）
内　　容	処理能力　100㎥／日
	処理方式　高負荷脱窒素処理方式　＋　高度処理

（6）浄化槽設置整備事業補助金制度

令和５年度から河川の水質環境の向上や汚水の適正処理に向けて、浄化槽処理促進区域（下水道事業計画区域外）で、現在使用している単独処理浄化槽又はくみ取り便槽を廃止して、合併処理浄化槽を設置する者について、設置費等に要する費用の一部を補助する制度を実施します。

補助対象経費	補助金額		令和５年度実績
合併処理浄化槽の設置に要する経費	５人槽	332,000円	０件
	７人槽	414,000円	１件
	１０人槽	548,000円	０件
宅内配管工事に要する経費		300,000円	１件
単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の撤去に要する経費	単独処理浄化槽 くみ取り便槽	120,000円 90,000円	１件

３ リサイクル

（1）リサイクルの推進

今日、地球的規模で環境問題が大きな課題となっており、地球にやさしいまちづくりが求められてきています。知多市では、平成４年度に知多市方式の資源回収システムを確立し、順次実施地域を拡大していった結果、平成９年３月に全市で資源回収をスタートしました。また、平成７年４月に開館したリサイクルプラザでは、回収した資源の選別・加工のほか、広く市民が学びふれあうことができるよう、リサイクルに関する各種教室の開催や情報の提供を行うなど循環型社会の構築を目指した事業を推進しています。

（2）知多市方式資源回収

○資源の有効利用とごみの減量を目的とした資源回収を行う。

○市が回収、売却等を行う地域回収と、市民団体が行う資源回収に対して報償金を支払うことにより支援する集団回収の２方式を実施する。

【地域回収】

○回収品目

新聞、ダンボール、雑誌（雑がみ）、牛乳パック、布類、アルミ缶、スチール缶、その他缶類、無色びん、茶色びん、その他色びん、ペットボトル、使用済み乾電池、廃食用油

※令和６年４月からプラスチック類の定期収集開始に伴い、トレイ、プラスチック製容器（食品用）、発泡スチロール、ペットボトルキャップを廃止

○回収頻度

１回／月

○排出時ルール

資源の裸出し及び資源の洗浄、地域住民による分別排出指導

○報償金

資源売却金を交付する。

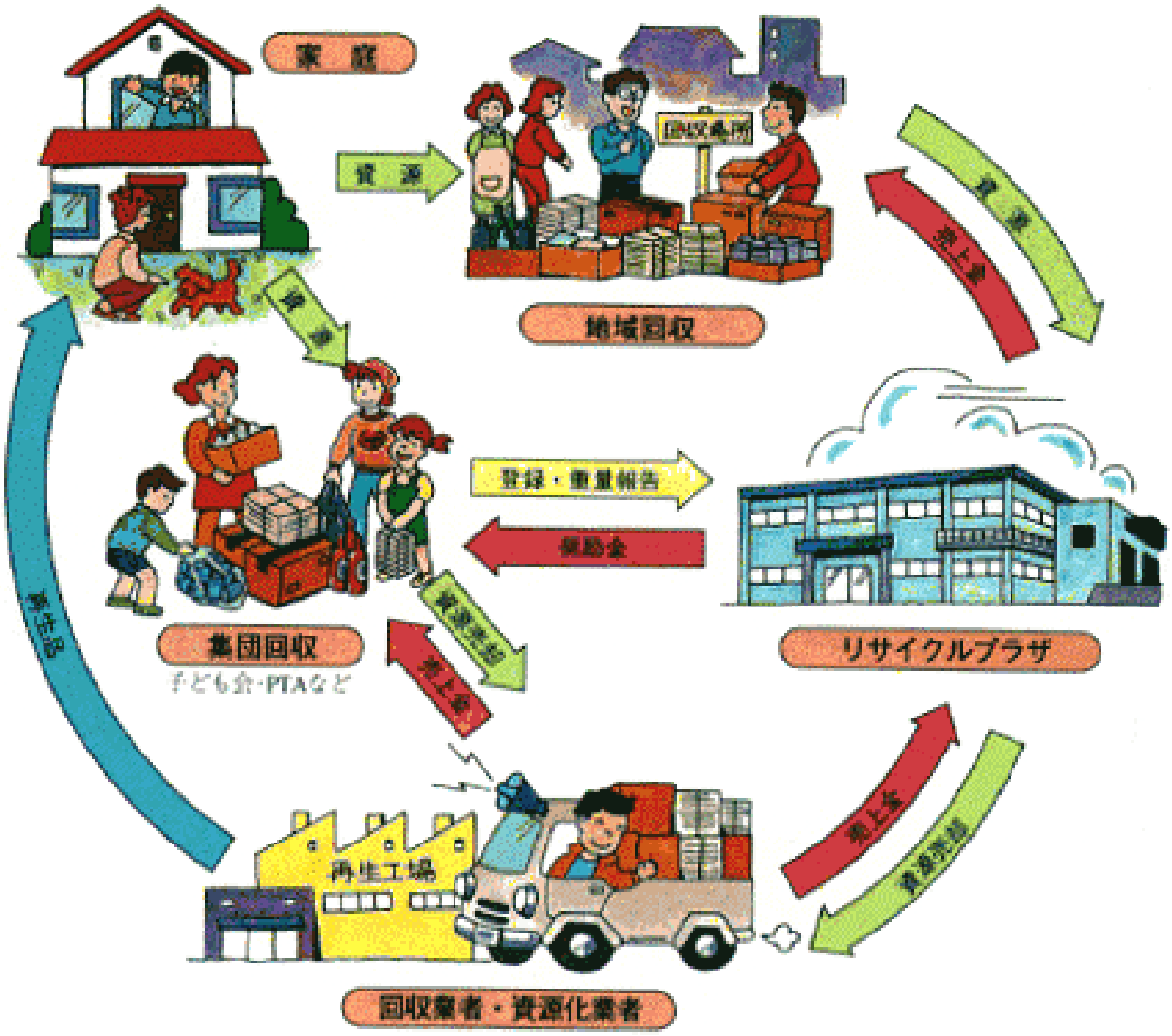
【集団回収】

○登録団体に対し、回収量に応じて報償金を支払い、集団回収を支援する。

○回収日の設定、品目、売上金の調整及び回収作業等すべての調整は各団体が行い、市は報償金の支払業務を行う。

○１kg当たり４円の報償金を交付する。

知多市方式資源回収


家庭
資源
回収場所
地域回収
資源
売上金
資源
集団回収
子ども会・PTAなど
登録・重量報告
奨励金
資源
売上金
リサイクルプラザ
売上金
資源
再生工場
回収業者・資源化業者

（3）資源回収実績

【資源回収量（地域回収・直接搬入）】

（単位：ｔ）

年　度		令和３年度	令和４年度	令和５年度
新聞		515	474	419
ダンボール		238	227	211
雑誌(雑がみ)		457	424	395
牛乳パック		18	18	18
布類		128	113	103
アルミ缶		35	35	30
スチール缶		9	8	8
その他缶類		15	14	13
無色びん		85	81	81
茶色びん		75	74	70
その他色びん		54	49	45
ペットボトル		77	76	71
ペットボトルキャップ		5	6	6
トレイ等※1		124	127	124
使用済み乾電池		8	9	9
廃食用油※2		13	11	11
インクカートリッジ		0(0.2)	0(0.2)	0(0.2)
小型家電		80	70	76
水銀使用廃製品		1	1	1
小型充電式電池		0(0.4)	0(0.4)	0(0.4)
剪定枝		104	109	123
金属類(令和６年２月開始)		－	－	1
合　計		2,041	1,926	1,815
	うち地域回収	1,259	1,197	1,112
	うち直接搬入	782	729	703

※１　トレイ等…トレイ、プラスチック製容器（食品用）、発泡スチロール

※２　廃食用油…公共施設回収分を除く

【集団回収状況】

区　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度
登録団体数（団体）	30	27	24
資源回収量　（ｔ）	202	207	169

【廃プラスチック類の拠点回収】

年　度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
拠点回収量（ｔ）	5.164	5.599	5.661

【食品用プラスチック類の店頭回収】

年　度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
店頭回収量（ｔ）	33.440	34.315	32.605

（4）リサイクル教室

令和５年度

裂き織り教室　　２回　　９人

衣類リフォーム教室　２回　２１人

（5）知多市リサイクルプラザ

所 在 地　　知多市南浜町２２番地の２

敷地面積　　11,498.15 ㎡

延床面積　　3,451.97 ㎡（内増設部分　保管庫456.77㎡、事務所棟301.00㎡
車庫棟266.96㎡）

構　　造　　工場棟　― 鉄骨造２階建
保管庫　― 鉄骨造平屋建
事務所棟 ― 鉄骨造平屋建
車庫棟　― 鉄骨造平屋建

総 工 費　　792,070,000 円（平成７年３月竣工、増設部分除く）

内　　容　　工場棟　― 研修室、体験学習室、見学者通路、プラットホーム、搬入室、手選別室、缶ライン、ペットボトルライン、ストックヤード、職員控室
保管庫　― 資源置場
事務所棟 ― 事務所、会議室、書庫